

山毛櫨

2012. 4. 2 (Mon)

■ 学校経営にあたり

生徒、保護者そして教職員にとってそれぞれ、「行きたい学校、通わせたい学校、勤めたい学校」と思えるような学校づくりをしていきたい。また、今はどの学校でもそうだと思いますが「開かれた学校」づくりに取り組み、保護者や地域の方々に理解され、信頼される学校づくりをしていきたいと思います。

異動規模が大きく、学校運営も簡単にはいかないと思いますが、教頭先生や教務の先生が残っているので力強く思います。新学習指導要領も実施されますので、柔軟な考え方をもちながら「よりベターだ」と思うことがあったら、年度途中でも変えていきたいと考えています。



■ こんな学校にしたい……………

1. 1人1人が学校経営を

- ◆それぞれが学校を経営をしているという思いで物事を考える。
- ◆生徒のことを何よりも一番に考える。
- ◆生徒も教師も「明日も学校へ来たい」と思える学校づくりに努める。

2. 生徒指導の機能を生かして

- ◆生徒指導の3機能(共感、存在感、達成感)を生かした授業づくり。
- ◆常に授業改善を考えて取り組む。
- ◆生徒の物差しでいろいろな面から生徒理解を図る。
- ◆教師が生徒に心を開き、何を思っているかを情報発信する。

3. 同じ方向へ向かって

- ◆共通実践課題に全員が取り組む。
- ◆教科、学年を越え、足並みをそろえて指導に臨む。
- ◆生徒や保護者と共働の姿勢で臨む。

4. 開かれた学校

- ◆地域に信頼された学校を目指し、学校報、学年通信、HPの公開・更新等で学校の情報を数多く発信する。
- ◆保護者、地域等からの学校評価を謙虚に受け止め、改善に取り組む。